

2号機原子炉建屋地下階 トールス室内調査

2012年 4月 23日
福島第一安定化センター
機械設備部



東京電力

調査概要

■ 目的

格納容器からの漏水箇所の調査・止水対策および原子炉建屋からタービン建屋への漏水箇所の調査・止水対策を計画しており、トーラス室内の現状把握を実施することが重要となる。そこで、高線量が予想されるトーラス室内をロボットにより可能な範囲で調査し、今後の計画立案に資することを目的とする。

■ 実施内容

2号機原子炉建屋地下階トーラス室内において以下を実施。

- 目視確認（画像・動画取得）
- 線量率測定
- トーラス室内の音響の確認

■ 使用機器

遠隔操作ロボット サーベイランナー 1台

■ 現場体制

当社社員 6名

■ 作業時間

4月18日（水）

10:38 サーベイランナーR／B入域

13:59 サーベイランナーR／B退域

■ 被ばく線量

計画線量[mSv]	最大被ばく線量[mSv]	人数	役割
6	—	2	緊急時R／B入域（ロボット回収）
2.5	0.28	4	ロボット操作・準備等

トーラス室の線量率 (mSv/h)



調査結果（画像） 1 / 3



P CV方向



南東S/Cマンホール上方



南東S/Cマンホール

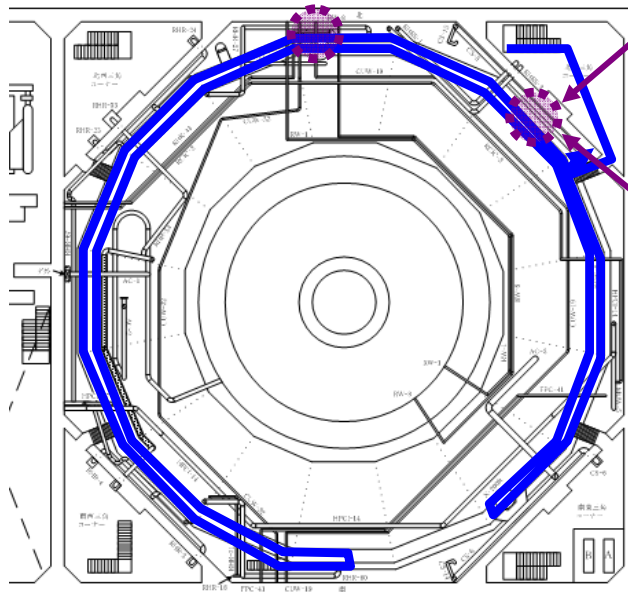
調査結果（画像） 2 / 3



北S/Cマンホール

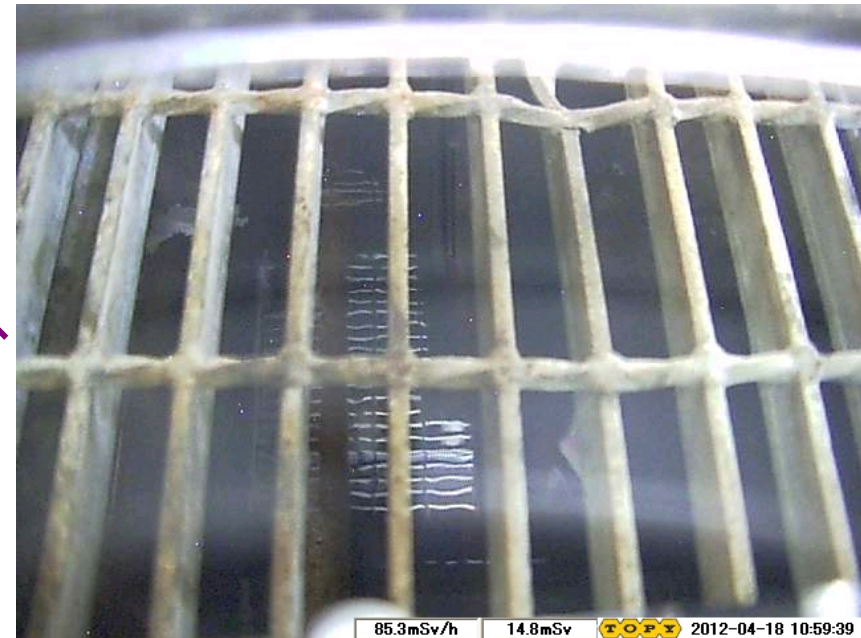
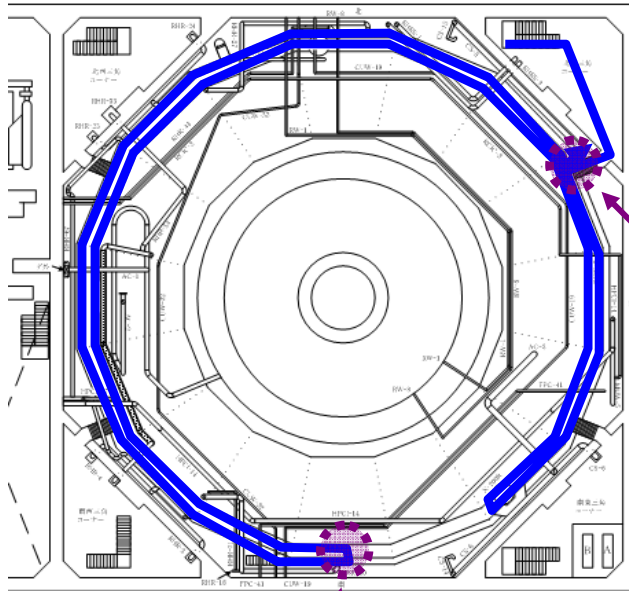


北東通路



北東通路上方

調査結果（画像） 3 / 3

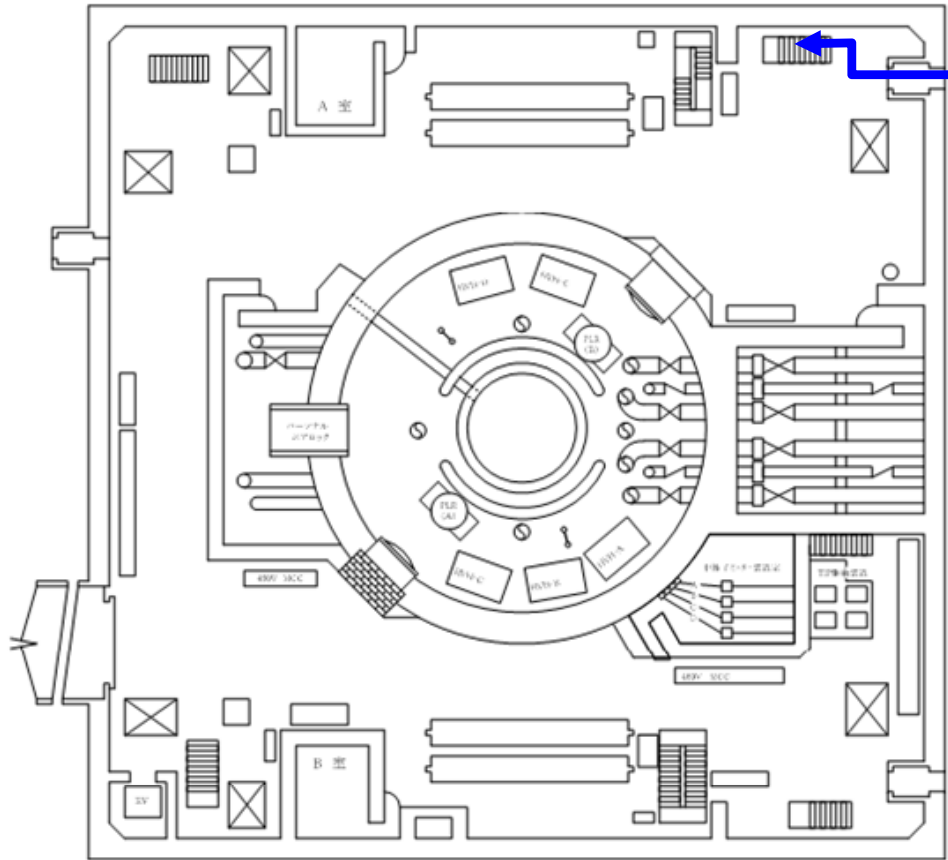


トーラス室内下方

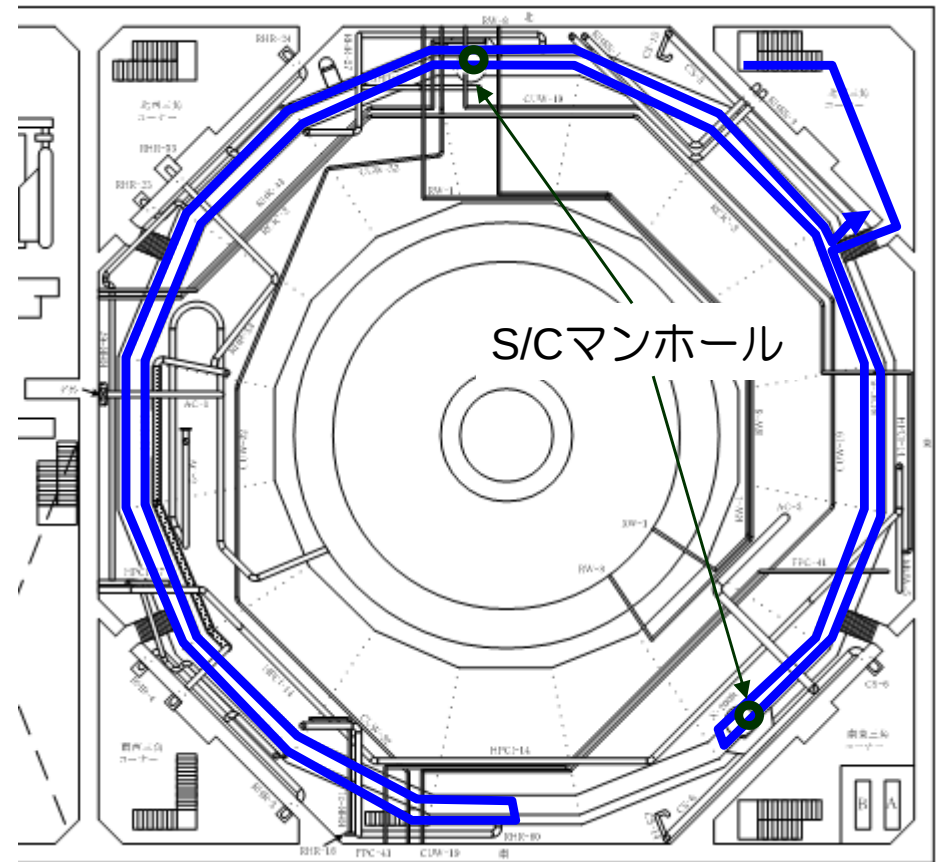


南通路上方

(参考) ロボットアクセスルート



R/B 1 階



R/B地下階